

大阪大学図書館報

Vol. 7, No. 2/3, June, 1973

含翠堂（土橋）文庫について

梅 溪 昇

今年の銀杏祭には各学部などで研究施設の公開があり、そのさい文学部、附属図書館共同で大阪大学の源流といわれる懐徳堂、適塾の史料展を図書館閲覧室で催おし、幸いにも好評を博した。参観者各位にはお気づきのようには懐徳堂ときわめて由緒深い含翠堂の史料も同時に展示した。含翠堂の由来およびその史料が本学に所蔵されていることについては、これまで多くの人びとに知られていないので、今回の展示を機会に遅ればせながら簡単に解説するよう編集子から求められた。

含翠堂は享保2年(1717)、大阪南部の住吉郡平野郷、今の大阪市住吉区平野京町3丁目に設立された郷学であるが、今日その遺構はなく、わずかに「含翠堂址」という石碑が建っているだけである。平野郷は中世末には自治都市として繁栄し、近世に入ると棉作を中心とする商業的農業、手工業地帯の中心として発展し、元禄、享保期には約1万人の人口を有する都市となっていた。近世初頭においては朱印船貿易に乗り出し、末吉船で有名な末吉家とともに、同じ平野郷の7名家（みな坂上田村麻呂の分流という）の一つで、慶長いらい合薬商を営んだ土橋家の13代目当主の友直が含翠堂の創立者で、その設立意図は、棉作の発展にもとづく階級分化の激化により、7名家の支配的地位が動揺してきたため、その内部的結束を固め、かつ一般郷民に対する教化を通じて富民層の伝統的な権威を保とうとするものであったとされている。設立にさいして同志として参加したものは、同族7名家をはじめ、郷内有志の名がみえ、また賛助として出資した人のなかに懐徳堂創立者の一人である道明寺屋吉左衛門（富永芳春）の名もみえる。

友直は含翠堂創立にさきだち、京都へ遊学して歌学を河瀬菅雄、医学を後藤良山、儒学を古義堂伊藤仁斎に学んだ。なお儒学は菅雄の門で知り合った陽明学の三輪執斎に師事し、深い影響をうけた。したがって含翠堂の学風は陽明系ということが出来るが、町人としての実践道徳を学ぶことを目標としたため、とくに明確な学統を形成したのではなく、かつ和学にもおよんだ。

含翠堂の経営は、領主本多侯より地子米の下付があったが、すべて民間有志の寄金によっておこなわれた。すなわち、同志中が毎年掛銀を定めて拠金するとともに、賛助者の寄附金をも受け、その金を貸付けて利子を積立てるなどして経営をおこなった。また別に飢饉時には救済事業などにその資金をあてたことも含翠堂の性格の一面を示すものであった。

含翠堂と懐徳堂との関係のうえで享保9年(1724)3月の大阪の大火「妙智焼」が重要な契機

となっている。というのは、この大火で罹災した三宅石庵、五井蘭州らが一時平野に避難したことから大阪の三宅門下の人びとはたびたび平野を訪れ、親しく含翠堂をみて感奮するところがあった。これが、その年11月、船場の地における懷徳堂創立に連なったのである。したがって両者は関係も深く、懷徳堂の三宅石庵、中井竹山以下も含翠堂へ出講している。

このようにして明治5年(1872)、平野小学校の設立によって廃止となるまでの約150年間、含翠堂が懷徳堂に先駆けて民間経営の学塾として設立され、運営されていたことのわが国文化史、教育史上における歴史的意義は非常に大きい。

さて、含翠堂の遺物、旧記類は創設者である土橋家に保管され、同家の旧記、蔵書とともに伝来されていた。戦後まもなく全国的におこなわれた庶民史料調査の一環として含翠堂(土橋)文庫の調査がおこなわれた。それには当時大阪大学文学部教授であられた藤直幹氏を委員として酒井忠雄(現、大阪教育大学教授)、津田秀夫(現、東京教育大学教授)、有坂隆道(現、関西大学教授)の各氏が協力、ことにあたられた。これが機縁となって、昭和24年(1949)末、土橋保高氏の御好意により含翠堂(土橋)文庫は、あげて大阪大学文学部に寄贈されたのである。こうして本文庫は懷徳堂文庫とともに本学の誇る文庫となり、大阪町人文化の貴重な遺産であると同時に大阪大学の学問的源流を示す好資料として現在におよんでいる。この間、本文庫の整理、公開がいそがれていたが、当初よりその衝にあたられていた藤教授の御他界、大学紛争による文庫の疎開など、不慮の事情によってのびのびになっていた。しかしその後、国史研究室が中心となり、二、三の熱心な協力者の御助力をえて整理を急ぎ、昨昭和47年(1972)3月、ようやく「含翠堂(土橋)文庫目録」を編集公刊することができた。たんに含翠堂文庫としなかったのは、本来含翠堂と土橋家の蔵書は別箇のものであるが、創設者である土橋家に含翠堂の蔵書類が伝来されたところから厳密に両者を分けることがむづかしいこと、またあわせて土橋氏寄贈にかかるものであることを永く記念したいからである。

本目録は、すでに本学文学部田中裕教授によって紹介された連歌関係資料(語文第12輯、第13輯)と書簡類を除いた旧記、蔵書類の目録である。いずれも近い将来に連歌関係や書簡類に関する目録の続輯が国文学研究室によって編集されるであろう。

本文庫の内容を公刊された目録にしたがって記すと、含翠堂関係のものとしては三輪執斎、伊藤東涯、土橋宗信の「含翠堂記」をはじめ、関係者の墨跡が多く、そのほか三宅石庵の筆を刻した含翠堂の木額のような遺物も含まれている。含翠堂の経営を示す「含翠堂手簿」や「勘定簿」は享保2年より幕末まで、連年の記録が残されており、ほぼ全期にわたって内容を知ることができる。また含翠堂同志中がおこなった救済事業についての文書も多い。土橋家に関するものでは、同家が平野郷惣年寄役を勤める家柄であるため、平野郷に関するものが含まれている。延宝7年の検地帳、惣会所関係の文書がそれである。なお土橋家自体の家政を示すものが多いが、7名家の同族結合を示すものや合衆関係文書も注目すべき史料である。蔵書は含翠堂のものではなく、土橋家の蔵書と思われる和漢書が百数十点ある。今後、懷徳堂文庫とともに本文庫の史料がひろく学内外の研究者によって取り上げられ、大いに活用されるよう希望したい。

終りに付言したいことは、この種の貴重な文化財を多くもちながら定期的に展示、公開する完備した施設が本学にないことであって、まことに残念である。したがって早急に附属図書館に附設の展示館が設けられるよう切望したい。なお、含翠堂の文書、軸物などには相当傷んでいるものも多く、これらを補修するほか、たえず地道な資料研究が進められていなければ公開、展示も不可能で、この面についても専門学部に資料研究の施設をおき、人的、物的な裏付け、適任者の養成を急ぐ必要がある。全学の教官、学生諸氏の御考慮、御理解をお願いしたいと思うのである。

(文学部 教授)

学生希望図書(受入済)

- | | | | |
|--------------------------------|---------------------------------|----------------------------------|--------------------------|
| トランジスタ回路 I, II (電子回路基礎講座 2, 3) | 時田元昭 (オーム社) | ひき裂かれた自己 | R. D. レイン 阪本健二 訳 (みすず書房) |
| 有機化学 上, 下 | 野副鉄男 (広川書店) | 朝鮮人としての日本人 | 呉 林俊 (合同出版) |
| 情報処理技術者初級テキスト全3巻 | 日刊工業新聞社 編 (日刊工業新聞社) | 動物のことば | ティンベルヘン 伊谷 他訳 (みすず書房) |
| 入門流体力学 | G. K. バチュラー 橋本英典 他訳 (東京電機大学出版局) | フルートとギターのための曲集 | 吉田雅夫 他 (全音楽符) |
| 文献探索入門 | 佃 実夫 (理想の科学社) | 埴谷雄高論 (埴谷雄高作品集 別巻) | (河出書房新社) |
| 新会計監査詳説 | 日下部与一 (中央経済社) | 辻 邦生作品集 1, 2, 3 | 辻 邦生 (河出書房新社) |
| 試写室の椅子 | 飯島 正 (時事通信社) | 復刻版 唯物論研究 (以後継続) | 唯物論研究会 編 (青木書店) |
| 言語学の方法 | 服部四郎 (岩波書店) | 自由からの逃走 | エーリッヒ・フローマン (創元新社) |
| 講座「日本の老人」全3巻 | (恒内出版) | フルート名曲集 No 1 フルード・パート別符 | (ドレミ楽符出版) |
| ゲーム理論と経済行動 全5巻 | フォンイイマン・モルゲン (東京図書) | マイネッケ学の研究 | 吉武夏雄 (風間書房) |
| 刑事訴訟法 | 高田卓爾 (青林書院) | アサヒカメラ教室 1, 2 | 朝日新聞社 編 (朝日新聞社) |
| 現代経済学 | ヘンダーソン・クオント 小宮 訳 (創文社) | 実験化学講座 続7 | 日本化学会 (丸善) |
| 現代自然科学と唯物弁証法 | 岩崎 他 (大月書店) | 私の日本地図 4, 6, 9 (瀬戸内海 I, II, III) | 宮本常一 (同友館) |
| 老人社会学の展開 | 大道安次郎 (ミネルヴァ書房) | タンパク質合成における遺伝子の機能 | 三浦謙一郎 (東京化学同人社) |
| レーニン | トロッキー (河出書房新社) | 生態学と資源管理 (下) | ワット, 伊藤嘉昭 訳 (築地書館) |
| 偶然と必然 | J. モノー 渡辺 格 訳 (みすず書房) | 海洋科学基礎講座 2, 9 | 高野健三 (東海大学出版会) |
| 源氏物語 全10巻 | 円地文子 訳 (新潮社) | フォートラン入門—電子計算機のプログラミング 1 | 浦 昭二 (培風館) |

教官著作寄贈図書

- | | | | | | | | |
|--------------|-------------------|------------------------------------|------------------------------------|--------------|-----------------------------------|-------------|----------------------|
| 一本 館一 | 岡田光正 (工・教授) | 住宅の計画学—すまいの設計を考える— | 岡田光正, 藤本尚久, 曾根陽子 共著 (鹿島研究所出版会 昭48) | 佐藤武男 (医・助教授) | 喉頭癌—その基礎と臨床— | (金原出版 昭47) | |
| 毛利可信 (文・教授) | 意味と真偽性—言語哲学的研究 | パートランド・ラッセル 著, 毛利可信 訳 (文化評論出版 昭47) | 一中之島分館一 | 古川俊之 (医・講師) | 生命と情報 I—III (講座情報社会科学 3) (学研 昭47) | 福井巴芳 (医・助手) | 裁判化学 (広川書店 昭47) |
| 重松 康 (医・助教授) | 癌と放射線治療 (南山堂 昭48) | 難波 和 (医・講師) | 循環器病診断治療の指針 (永井書店 昭48) | 辻 悟 (医・助教授) | 思春期精神医学 (金原出版 昭47) | 待田順治 (歯・講師) | 口唇裂口蓋裂文献集 (永井書店 昭48) |

一理学部図書室一

新村陽一 (理・教授)
無機化学各論 (朝倉化学講座 15)
(朝倉書店)

杉本健三 (理・教授)

Proceedings of the international conference on nuclear moments and nuclear structure 1972. Osaka (日本物理学会)

本館受入参考図書

- 3~5月に受入済みのもの
- 日本国語大辞典 1-2 (小学館)
公害とその防止技術 '72 (通産技術資料調査会)
国勢総覧 43版 (国際聯合通信社)
World Guide to Universities
Who was who in the USSR
British Books in Print '72
Scientific Research in British Universities and College vol. 1-3
Biographical Dictionary of Republican China vol. 1-4
Ergangungs-Worterbuch der Deutschen Sprache
Worterbuch der Deutschen Sprache
専門情報機関総覧 (和文編)
経済新語辞典 '72 (日本経済新聞社)
地学辞典 (Vol. 2) (古今書院)
PTA年鑑 (総集版) (PTA新聞社)
日本の参考図書 (改訂版) (補遺版)
当代漢英詞典 (香港中文大學)
Handbook of Chemistry and Physics
Encyclopedia of Religion and Ethics vol. 1-12, index
年表 世界の文学 (創元社)
社会学用語辞典 (学文社)
中国故事たとえ辞典 (東京堂出版)
シエイクスピア辞典 (東京堂出版)
経営英和辞典 (ダイヤモンド社)
日本美術史年表 (座右宝刊行会)
最新 公害辞典 (日本工業新聞社)
フランス文学辞典 (東京堂出版)
児童学事典 (光生館)
言語学事典 (大修館)
日本文法大辞典 (明治書院)
日本民謡辞典 (東京堂出版)
類義語辞典 (東京堂出版)
全国工場通覧 '72 (日刊工業新聞社)
経済学大辞典 (東洋経済新報社)
建築施工ハンドブック (朝倉書店)
結晶工学ハンドブック (共立出版)
岩波 中国語辞典 (岩波書店)
- 島崎藤村事典 (明治書院)
近世史ハンドブック (近藤出版社)
Biographic Dictionary of Chinese Communism vol. 1, 2 (1921-1965)
Books in Print vol. 1, 2 (1972)
Population Index Bibliography (geographical index) 1935-1968
日本社会経済史用語辞典 (朝倉書店)
現代日本文芸総覧 上・中・下 (明治文献)
海外派遣・留学・視察総覧 (帝国地方行政学会)
The International who's Who '72-'73
Irregular Serials & Annuals; an International Directory
現代中国関係中国語文献総合目録 (アジア経済研究所)
防災ハンドブック (技報堂)
商業経営ハンドブック (/)
工業経営ハンドブック (/)
土質工学ハンドブック (/)
騒音対策ハンドブック (/)
無機化学ハンドブック (/)
有機化学ハンドブック (/)
土木工学ハンドブック (上巻) (/)
配管便覧 (化学工業社)
応用物理実験技術ハンドブック (オーム社)
化学工業予測要覧 (化学工業社)
図解糖質化学便覧 (共立出版)
最新電験ハンドブック (電気書院)
生物化学ハンドブック (技報堂)
分析化学辞典 (共立出版)
応用待ち行列事典 (広川書店)
化学装置百科辞典 (化学工業社)
近代経済学小辞典 (春秋社)
新会計学辞典 (同文館出版)
日本経済史文献 1-6巻 (日本評論社)
世界地理百科大事典 (講談社)
東洋史辞典 (東京創元社)
日本史辞典 (/)
地方公共団体総覧 (帝国地方行政学会)
Encyclopedia of Polymer Science and Technology vol. 1-16
Subject guide to books in print vol. 1-2

会 議

——理学部図書室運営委員会——(23回)——

48.5.22 (火) 13:00~15:00 於 化学系会議室

①47年度決算報告 ②47年度ゼロックス決算報告 ③48年度予算案：図書費は前年度予算の約10%をスライドさせた。製本費は約15%値上りするので、その分を増額する。④その他、目録カードの整備について、できるかぎり早く完備させる。図書の種類について、学科から特に指定された図書については、十分配慮する。

——基礎工学部図書委員会——第24回——

48.5.30 (木) 13:30~15:00 於 中会議室

①決算報告：決算報告通り承認。②48年度予算案について：外国雑誌購入費は円切上げ効果と Chemical Abstracts 購入中止のため、前年度にくらべ7万円減額。製本費は大幅な値上りのため、3万円増額。③学生用図書費・指定図書費の配分：予算が決まり次第配分する。学生用図書費は学科定員に比例して配分、指定図書費は受講者数の比率で配分する。④委員長交代：今市教授の辞任により、樺田教授が新委員長となる。

分館だより

——基礎工図書室——

基礎工学部図書室では4月11日(水)、大学院進学者130名に対して、担当者より図書館利用のオリエンテーションが行われた。

本館で速報誌の目次速報サービスを実施!

本館では4月1日より速報誌の目次配布サービスを開始した。これは下記速報誌を航空便でとりよせ、原則として受入日又はその翌日に目次をゼロックスで複製し、入手希望講座へ配布するもので、本文の複写も受付けている。

1. Physical Review Letters
2. Applied Physics Letters
3. Physics Letters, Sect. A
4. Solid State Communications
5. Chemical Physics Letters
6. JETP Letters
7. Chemical Communications
8. Tetrahedron Letters
9. B. B. R. C.
10. FEBS Letters
11. Res. Comm. Chem. Pathol. & Pharmacol.

「大阪大学附属図書館機械化ワーキンググループ」本年度岸本奨励賞受賞！

昭和48年度、岸本奨励賞に「大阪大学附属図書館機械化ワーキンググループ」がその受賞の一つに決定した。この賞は元東京大学附属図書館長故岸本英夫博士の記念事業として同博士記念基金が設置され、国立大学図書館職員の優れた功績、また研究事業に対し、毎年奨励賞が贈られることになっている栄誉ある賞である。

日 程

- 3月16日(金) 図書館機械化調査研究班第9回研究集会(群馬大学附属図書館)
- 3月26日(月) 司書職制度調査研究班第35回委員会(東京大学附属図書館)
- 4月13日(金) 近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会(第1回)(京都大学附属図書館)
- 4月19日(木) 国立大学図書館協議会常務理事会(昭和47年度第4回)
第12回新しい大学図書館像特別委員会(東京大学附属図書館)
- 4月20日(金) 昭和48年度岸本奨励賞選考委員会
国立大学図書館協議会理事会(東京大学附属図書館)
- 4月24日(火) 図書館機械化調査研究班第10回研究集会(東京大学附属図書館)
- 5月8日(火) 国立大学図書館協議会近畿地区協議会
近畿地区国公立大学図書館協議会企画委員会(第2回)(京都大学附属図書館)
- 5月23日(水) 近畿地区国公立大学図書館協議会 参考図書に関する委員会(大阪外国語大学附属図書館)
- 5月25日(金) 昭和48年度岸本奨励賞選考委員会
国立大学図書館協議会常務理事会(昭和47年度第5回)(東京大学附属図書館)
- 5月31日(木) 第42回近畿地区国公立大学図書館協議会(なにわ会館)

人 事

来 訪 者

- 3月1日(木) 桜井宣隆(図書館短期大学教授)
- 3月7日(水) 斉藤俊彦ほか2名(日本放送協会放送総局資料センター)
- 3月14日(水) 福西正倫(香川大学附属図書館事務長)
- 〃 高山 昇(国立国会図書館参考書誌部科学技術課)
- 3月23日(金) 酒井卯平(福岡教育大学附属図書館事務長)
- 3月30日(金) 専門図書館関西地区協議会施設見学会参加者(地方議会, 大学, 民間企業体の
議査及び資料・情報管理担当者)53名
- 4月18日(水) 岡本 昭(文部省大臣官房情報処理課長)
- 4月19日(木) 田中 操(岡山大学附属図書館事務部長)
- 5月9日(水) 田保橋 彬(文部省大臣官房調査統計課課長補佐)
- 5月11日(金) 垣谷雅一(鹿児島大学経理部長)ほか1名

参考業務担当者（時間外開館）

本年度，院生による参考業務担当者は下記のメンバーです。

自然科学担当 脇島 修（月），（木）
 人文社会科学担当 鄭 康守（火），（金）
 “ 川内 蒔（水），（土）

職員の異動

前事務部長 中野六郎（48.4.1付 定年退職）
 事務部長 宮武正義（ “ 文部省大臣官房人事課課長補佐（福祉班主査）より）
 前整理課長 藤井和夫（ “ 東京工業大学附属図書館事務部長）
 整理課長 田中 明（ “ 茨城大学庶務部庶務課課長補佐より）
 前整理課長補佐 浅野次郎（48.6.1付 北海道大学附属図書館整理課長）
 整理課長補佐 田中久文（ “ 吹田分館運用掛長より）

配置換 前会計掛長 本田重雄（48.4.1付 理学部用度資材掛長）
 会計掛長 原 正義（ “ 経理部主計課より）

採 用 諏訪 敏幸（48.4. 1付 整理課受入掛）
 村田 敬子（ “ 吹田分館運用掛）
 吉岡 茂良（ “ 中之島分館運用掛）
 荒木 昭義（48.5. 1付 中之島分館目録掛）
 良本 恭子（48.6. 1付 整理課目録掛）
 森長 照子（ “ 閲覧課閲覧掛）

辞 職 佐々田玲子（48.3. 5付 吹田分館運用掛）
 馬頭美江子（48.3.30付 整理課目録掛）
 森沢 道子（ “ “ “ ）
 宮崎 茂樹（ “ 吹田分館運用掛）
 鄭 権吉（ “ 中之島分館運用掛）
 椎尾 和美（ “ “ “ ）
 福嶋 敦子（48.4.21付 閲覧課閲覧掛）
 野口 美佐（48.5.31付 整理課目録掛）

図書館の概況(昭和47年度)

(48.4.1.現在)

区 分	本 館	理 学 部 図 書 室	基 礎 工 室 図 書 室	中之島分館	吹田分館	薬学部分館	計
蔵 書 数	547,228	75,659	46,084	168,143	214,568	16,974	1,068,656
47年度受入冊数							
1) 図 書 冊 数	33,202	4,214	5,122	6,909	13,489	1,121	64,057
2) 雑 誌 種 類 数	4,940	673	912	2,216	2,626	220	11,587
図書費支出額(千円)	112,310	29,885	36,985	36,901	86,186	8,916	311,183
施 設							
1) 建物面積 (㎡)	8,008	509	403	3,032	3,249	349	15,550
2) 座 席 数	1,005	49	128	198	240	67	1,687
館 員 数	41	7	4	21	16	3	92
利 用							
1) 貸 出 冊 数	70,266	12,598	16,283	46,980	23,041	5,825	174,993
2) 貸 出 人 数	31,619	9,839	13,266	21,320	18,160	4,896	99,100
相 互 利 用							
1) 依頼件数(学内)	854	424	81	512	623	741	3,235
(学外)	661	127	—	2,067	160	148	3,163
2) 受付件数(学内)	2,746	2,615	107	1,497	1,678	763	9,406
(学外)	712	489	—	6,453	363	1,480	9,497
参 考 調 査							
1) 即 時 調 査	3,162	—	—	6,129	3,552	—	12,843
2) 主 題 書 誌 作 成	—	—	—	41	—	—	41

編集スタッフ 編集兼発行人 宮武正義 委員 上島順二郎(長) 木本明男 松浦 正

津田恭司 山下 進 泉 文雄

レポーター 田中久文 町井照子 小山靖裕 篠田恭子 河崎戎三

大阪大学図書館報 Vol.7 No.2/3 通巻32号 昭和48年6月1日(隔月刊) 編集発行人 宮武正義
発行所 大阪大学附属図書館 豊中市待兼山町1の1(☎560) ☎ 06 (856) 1151 内線 2138